

第2回津山市行財政改革推進委員会 議事概要

| |
|--|
| 日時：平成22年10月26日（火）10:00～12:00 |
| 場所：第1委員会室 |
| 出席者<委員>：鳥越良光、後山富士水、藤本貴子、須江英典、美若晨子、草替康弘、多田憲一郎、小山京子、村岡政明、小西治之、西山禮子 <津山市>：宮地市長、大下副市長、田口特別理事、田村教育長、豊岡水道事業管理者、部長級職員、事務局 |
| 1. 開会 2. 市長あいさつ 3. 会長あいさつ 4. 協議事項 （1）第9次津山市行財政改革実行計画（前期）について 委 員：数字だけの欄の単位について説明してください。 事 務 局：数字だけの欄は、金額で、単位は「千円」です。他は「%」や「人」などと表記しています。 委 員：「No26経常経費の削減」などは、数値目標としての効果額をきちんと記載しておくべきではないか。 「検討」を2年間もすることになっているのは、長いのではないか。実施を早めるべきではないか。 委 員：「No53口座振替納税制度利用率の向上」の目標値が低すぎるのではないか。 委 員：「No35民間福祉関係団体補助金の見直し」など、他の補助金に関する項目の掲載がないので、削減しやすいところから実施するというようにも見えるが。 事 務 局：補助金については、他の部署にもあり見直しに取り組んでいますが、それぞれの事情も考えながら今回の掲載になっているとご理解いただきたい。 委 員：「No36市内4観光協会の一元化」については、地域のことはやはり地域でなければわかりにくいと思いますので、存続についても考えてもらいたいと思います。 経済文化部長：ひとつの観光協会として、一体的に津山市の観光の推進をしていきたいと考えていますが、地域においては委員が言われるような理由もあって、話が進みにくいという状況です。 委 員：団体の意向もありますし、市としては補助金をカットすればよくて、一元化させる必要はないのではないか。 委 員：商工会議所と商工会についても一元化の議論があります。 委 員：地域のやる気を大事にして、地域の活性化についても考慮してもらいたい。 委 員：効率化のためにほかの組織に一元化を求めていくことは、地域の活性化を進めることと相反することになるので、今後、よく議論していただきたい。 委 員：経常収支比率の平成24年度目標値が94.5%となっていますが、この実行計画（前期）の項目をすべて実施したら目標値を達成することができるのでしょうか。 財政部長：経常収支比率の大きな要件であります人件費、扶助費、公債費を考えると、この実行計画が実施されれば目標値を達成できるものと見込んでいます。 委 員：計画のなかには「検討」となっているものもありますが、これらも含め計画が実施されるとして目標値との整合性のチェックはしているのか。 |

財政部長：地方交付税や市税収入の見通しが立ちにくい状況はありますが、一般財源総額の確保はできると考えています。そういった中で、人件費、扶助費、公債費を中心に各項目が実施されれば、達成できると考えているということです。

委員：見通しが立たないということはわかりますが、シミュレーションのなかで確認は取れているのかということをお尋ねしているのですが、どうですか。

財政部長：シミュレーションの中でこの数値は達成できると考えています。

委員：経常収支比率は80%以下が適切であるとなっていますが、それに向けて取り組んでは行かないのですか。

財政部長：合併後、経費削減に努めてだんだんと数値は落ちていっていて、これからも80%は目指すのですが、平成24年度ではあまりにも急激なので、現時点の目標値としては94.5%としています。

委員：平成24年度以降についての考えはありませんか。

財政部長：平成24年度以降については、公債費比率にも大きな影響を与えるクリーンセンターとか土地開発公社などの課題がありますが、それらの課題の方向性が出る時期には修正していきたいと考えています。

委員：土地開発公社の整理についてですが、土地開発公社の抱えている未利用地の買戻しは津山市の大きな財政負担となります。長期的な見通しについて聞かせてもらいたい。

副市長：5年程度の財政計画を立てている中で、合併特例期間終了に伴う交付税の減額などの歳入面だけでなく、クリーンセンターなどの歳出面にも危機感を持って、行政運営に努めていますのでご理解いただきたいと思います。

委員：財政計画そのものを立てることができなくなることも考えられるので、先の見通しを持っていただきたい。

委員：今の内にもう少し踏み込んだことを考えて、取り組んでいくということも考えてください。

委員：行革だけ、削減だけで財政を立て直すことは、無理があります。税収を増やしていくための成長戦略を、行革とは別に考えていってもらいたい。例えば「ホルモンうどん」など、津山の持っているいいものの活性化を図っていただきたい。

委員：産業全般の活性化について、行政も頑張ってください。

委員：成長戦略に基づいた税金の使い方と、行革の取り組みをもっとスピード感を持って実行していただきたい。

委員：各種委員の報酬について、日額制の検討なども必要ではないでしょうか。

総合企画部長：判決や他の自治体での検討などの情報もありますが、この実行計画の中では「34各種補助金の見直し」の中で取り組んでいくことを考えています。

委員：国で問題になっている「天下り」は、津山市ではどうですか。

総務部長：津山市では、国で行われている「天下り」に該当するようなケースはありません。

(2) 事業仕分けの実施について

委員：市民評価委員については、申込みのあった方にはできるだけ参加してもらおうようにしてください。